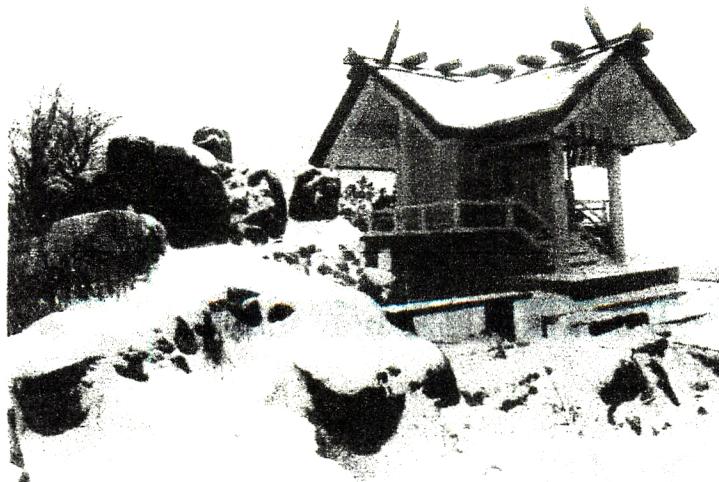


山のトイレ協議会通信

第1号



雪の宝満山山頂

目 次

山のトイレ協議会通信創刊にあたって	2 P
創立総会報告	2・3 P
記念講演「早池峰山のゴミ、トイレ問題 16年間の取り組みとこれからの活動」 永田 京子氏	4 P
協議会のこれまでの活動	5 P
宝満山キャンプセンターバイオトイレの現況 運営委員会だより・お知らせ	6・7 P 8 P

山のトイレ協議会通信創刊にあたって

会長　山上　司

昨年6月、「山のトイレ、環境を考える福岡協議会」(略称「山のトイレ協議会」)を設立してから半年が過ぎました。団体会員、個人会員入会いただき誠にありがとうございます。

山の環境問題の中でも、とりわけ登山者が強い関心を持っているのが「トイレ」の問題です。福岡県内においても、特定の山に登山者が集中する、いわゆるオーバーユースの問題が深刻化しております。温暖化や異常気象による災害の発生など環境問題への高まっているなか、山の自然環境の保全は私達が取り組むべき最優先の課題です。

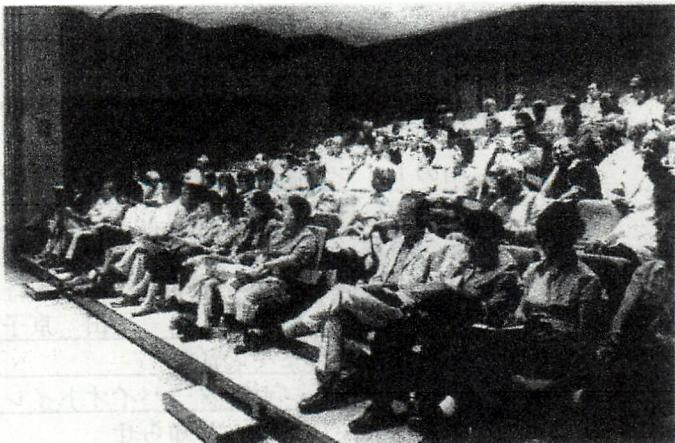
この小誌が山の自然を守る行動と、自然保護に対する関心を高め、山の環境を守る活動の契機になればと願っております。

どうかこれから活動に対しご参加、ご協力をよろしくお願ひします。

山のトイレ、環境を考える福岡協議会設立総会

平成20年6月22日(日)、丁度1年前の6月17日に「山のトイレを考えるフォーラム in 福岡 2007」を開催した太宰府市の「太宰府館(まほろばホール)」で設立総会が開催されました。今回の参加者は95名と、昨年の200名には遠く及ばなかったものの「設立総会」であることを考えれば堅実な数字であったと評価しております。

13:00 福岡県山岳連盟の貞刈氏の司会により、竈門神社禰宜の松大路氏の開会挨拶で始まりました。今回は来賓として、山岳トイレについて環境実証モデル検討会を立ち上げ、自治体等に対する「山岳トイレ整備補助事業」を行うなど山のトイレ問題に対しても強い関心を持っている環境省の九



福岡地方環境事務所福岡事務所の川野所長をはじめ、30年間続けている「ふるさとの山・県民清掃ハイク」など自然保護活動が高く評価され、環境省から表彰された「福岡県勤労者山岳連盟」の荒木会長、「九州の原生林をまもる福岡の会」の深野会長にご挨拶をいただきました。

このあと、平田・福岡県勤労者山岳連盟理事長を議長に、松大路氏からの協議会規約、会長、運営委員長の選任、また構成する9団体からの役員（運営委員）について説明と紹介がされました。

会場からは、宝満山にバイオトイレが作られることになったことと、当協議会結成との因果関係に対する質問や、決議の際の、個人、団体の票の取り扱い方など厳しい質問もあり今後に課題を残しました。

続いて、西鉄山友会の伊藤会長から、宝満山のバイオトイレへの改修に至る経緯、バイオトイレシステム、今後の作業スケジュール等について報告、説明があり、西日本鉄道(株)による着工には、同社の創立100周年記念事業の一環であったとしても、昨年、当協議会の前身である「山のトイレを考える福岡の会」が開催した「山のトイレを考えるフォーラム in 福岡 2007」などの社会的背景もその後押しに大いに貢献したと当協議会の地道な活動を評価していただきました。

メインの活動方針、予算案は運営委員長として承認された九州登山情報センター理事の太田氏から説明があり、承認され、14:10閉会しました。

◎活動方針

*山のトイレマナーの普及活動

*10/19 労山の第60回「ふるさとの山県民清掃ハイク」に共催し、キャンペーンを行う。

*山域を限定し、トイレ調査、水質調査を行う。

*活動ニュースを発行する。

◎会長ならびに運営委員

会長

山上司 (福岡県山岳連盟)

運営委員長 太田勝

太田勝 (九州登山情報センター)

委員

伊藤 博紀 (西鉄山友会)

大日方武男 (九州の原生林を守る会)

豊福 利信 同

熊手 澄子 同

貞刈 誠 (福岡県山岳連盟)

矢田 啓祐 (あだると山の会)

平田 真介 (福岡県勤労者山岳連盟)

高松 登志子 同

黒岩 嵩 同

池松 和弘 同

会計監査

松大路 秀一 (竈門神社)

貞方 岩戸 (竈門神社)

副島 勝人 (日本山岳会福岡支部)

記念講演・永田京子氏（岩手県自然保護団体協議会代表）
演題 「早池峰山のゴミ、トイレ問題 16年間の取り組みとこれからの活動」

永田さんは、1988（昭和 63）年、『和賀川水系の自然を考える会』を結成以来、様々な自然保護活動に力を注いでこられました。

中でも、珍しい高山の花の宝庫として全国的に知名度の高い早池峰山での自然保護活動、特に、トイレ問題の解決に努力されています。

きっかけは、所属する『花巻山友会』の人たちが昭和 61 年に山頂に設置されている地下浸透式の古いトイレの糞尿の処理の実態を知ったことからでした。

早池峰山は蛇紋岩で構成されており、植物の生育を妨げる金属成分を含むため、花々はこの厳しい条件に適応するよう変化してきたのです。

「地下浸透式」は、このように厳しい貧栄養のところで生きる高山植物にとっても、また下流への沢水への汚染についても影響が懸念されることから、会のメンバーは「それなら、俺らで担ぎ下ろすべ！」と 8 年もの間、登山口のトイレまで担ぎ下ろしを続けておられます。ただ、トイレは古く、暗く、おまけにクサく県に改善を要請していたそうです。平成 10 年、突然、県は T S S 方式とかいうトイレへの改修を発表したそうで、いろいろ疑問点を投げかけたところ、問題も多いとして当面凍結する代わりに、今後 10 年間汲み取り、担ぎ下ろしと共に、携帯トイレの普及活動をやって欲しいとのことでした。「早池峰山にゴミは似合わない実行委員会」、岩手県労山、早池峰山フォーラム実行委員会の三者で同意し今まで來ることです。最近は県が一般の人を「グリーンボランティア」として登録し、保険を付けるなど前向きな姿勢を示し、何かとやり易くなったとのことです。携帯トイレの普及活動も、マナーガイドを配ったり、シャトルバス発着所で販売したり、使い方を指導したりと幅広く活動していることや、日曜日に担ぎ下ろしをやり、見せるってこともインパクトを与えてているのか、山頂トイレの清掃についても、清掃回数、回収量が激減ってきており、やっと、「早池峰山は携帯トイレで用を足す山」って認識が高まってきたと感じているそうです。

ただ、最終的には、山に残した「おしつこやウンチ」は、他人が担ぎ下ろすっていう、人まかせは決して良いことではなく、山にとっては最大のゴミであり、自分が出した物は持ち帰ってもらいたい！というのが願いがありますが、その前に是非とも登山口で済ませておくことをお願いしたいとのことでした。



携帯トイレを手に説明する永田さん

協議会のこれまでの活動

※ 10月19日(日) 県民清掃ハイク 四王寺山

山全体が国の特別史跡で、県民の森なども整備されており、手軽なハイキングコースとして親しまれている四王寺山が清掃対象山域となりました。

福岡県勤労者山岳連盟(略称: 労山)が春秋2回、永年取り組んできている清掃ハイクで、今回は60回目。誕生したばかりの当会も自然保護の趣旨、目的は同じなので共催で行いました。

当日は晴天に恵まれ汗ばむほどの陽気で、各登山口より各団体毎にゴミを拾いながらのハイキング。当会は秋の森のコースを担当しました。

参加者は165名(内当会10名)、回収したゴミは可燃物170kg、不燃物55kg合わせて225kgでした。

集合地の焼米ガ原で集会がおこなわれ、労山からの挨拶、アピール分の読み上げに続き、当会からは運営委員の貞刈誠氏が会の今後の活動への理解と支援をお願いしました。最後に宝満山バイオトイレの完成報告と山のトイレマナー袋について説明、配布を行うなど啓蒙活動を行いました。

登山者のマナーも向上し、県内の主要な山のゴミは随分と少なくなりましたが、それでも使用済みの紙はまだ散見されました。

※11月9日(日) RKB主催宝満山登山会

毎年秋にRKB毎日放送主催で登山会が催されており、キャンプ場では西鉄山友会による手作りぜんざいが振舞われます。例年1500人もの老若男女、家族連れが登ってくること、“山のトイレマナー”キャンペーンには絶好の機会だと入会受付の素晴らしい看板を竈門神社から寄贈いただき、RKB放送の了解のもとに教宣活動を行いました。

当日は生憎の曇り空で、この秋一番の冷え込みのため登山者は少なめでしたがそれでも1300人!、山頂近くのキャンプ場は気温5.6度と寒さに震える登山者がぜんざいめがけてくるのでその前に山のトイレマナー袋を手渡しました。こちらも寒さに震えながら凍えた手で…放送レポーターにも手渡してPR!

登山者の山の環境を守るマナーがすぐに向上することはないと思いますが、折にふれてマナー袋のことを思い出してくれれば良いと思っています。

☆山のトイレマナー袋…登山、トレッキングウェアのメーカー(株)ムッシュが山岳環境保全の一環として作成し自然保護団体などに提供しているもので、当協議会の趣旨に賛同され2000部を寄贈いただきました。



宝満山キャンプセンターバイオトイレの現況

西鉄山友会 伊藤博紀

バイオトイレ建設は、平成20年6月10日より、西鉄山友会会員と、宝満山を愛する仲間の応援を頂き、延べ270名の人員を投じて、平成20年8月3日に完成しました。8月5日より使用を開始しています。

バイオトイレの完成は、トイレ管理の始まりであり、会員の覚悟の始まりでもありました。バイオトイレ設置以来、今日(12月28日)までのトイレ管理の方法と問題点・トイレ使用状況等について報告いたします。

表1は、トイレ日常点検表です。平日(月～金)は、宝満山を愛する有志の方々に協力して頂き、管理をお願いしています。土・日祝日は山友会会員で実施しています。とにかく初めてのことで、どういう管理の方法が良いのか解からず、毎日の点検をしながらベストの方法を見つけるために日常点検表を作成し、この点検表に沿って管理を実施することにしました。この5ヶ月間で色々なことが解かってきました。特に男性用バイオトイレの汚れが頻繁に発生するのには正直、驚きました。又、女性用小便トイレの紙詰まりが酷く、その処理には大変苦労しました。そういう問題を一つひとつ解決しています。このように、まがりなりにも管理が出来ているのも、有志の方々のお陰と心から感謝しております。これからも日常点検を実施しながら、より良い管理をして、登山者に満足して頂けるようにしたいと思っています。

表1. 宝満山キャンプセンター トイレ日常点検表 (12)月度 故障時の連絡先 080-4356-3424(伊藤)

点検項目	16	17	18	19	20	(21)	22	(23)	24	25	26	27	(28)	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
①男子小便用トイレ																
トイレ内の清掃状態	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
便器の汚れ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
②バイオトイレ男子用																
操作モータ回転	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
操作盤の警報表示	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
操作盤の故障表示	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
トイレ内の清掃状態	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
便器の汚れ	レ	レ	レ	有り	有り	レ	有り	有り	レ	有り	レ	有り	レ	有り	レ	
⑤押しボタンの回数	869	869	871	872	878	886	891	902	903	905	905	919	934			
③女子小便用トイレ																
トイレ内の清掃状態	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
便器の汚れ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
④バイオトイレ女子用																
操作モータ回転	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
操作盤の警報表示	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
操作盤の故障表示	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
トイレ内の清掃状態	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
便器の汚れ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ		
⑥押しボタンの回数	1104	1105	1109	1111	1130	1133	1135	1143	1144	1145	1145	1162	1173			
使用回数記録																
⑦男子大便	1433	1435	1440	1443	1456	1469	1475	1487	1490	1492	1494	1514	1529			
⑧男子小便	4809	4822	4838	4851	4927	4958	4969	5027	5033	5042	5049	5110	5178			
⑨女子大便	1715	1717	1724	1727	1754	1758	1780	1773	1774	1779	1780	1806	1822			
⑩女子小便	1841	1848	1853	1855	1883	1890	1895	1923	1926	1934	1937	1968	2004			
点検者	毛利	友成	川村	川端	稻富	稻富	伊藤	伊藤	毛利	川村	川端	伊藤	伊藤			
点検時間	9:28	7:40	11:00	10:20	17:00	16:00	16:30	15:00	9:35	12:35	10:20	16:00	15:00			

表2は、バイオトイレの使用状況です。使用開始から、12月28日現在で10,533名の登山者が利用されています。今後も管理の充実のため、曜日・季節的な要因による登山者数を把握し、より良い管理をしたいと思っています。

表2. バイオトレ使用状況 (8/5~12/28までの146日間)

※ トイレ使用回数

	使用回数	使用率	1日平均	平日の平均	日曜の平均
男子大便	1529	66%	10	806/122=7	723/24=30
男子小便	5178		38	2536/122=20	2642/24=110
計	6707		46	3342/122=27	3385/24=140
女子大便	1822	34%	12	1058/122=9	764/24=32
女子小便	2004		14	1164/122=10	840/24=35
計	3826		26	2222/122=19	1604/24=67
総計	10533		72	5564/122=46	4969/24=207

※122日間 (例) 男子大便 806 / 122 = 7 ※日曜は24日間

平日の122日間のトータル 122日間 平均値

※ 日曜日の最大回数 (11/9日) RKB登山大会

男子大便	56
男子小便	304
計	360
女子大便	84
女子小便	86
計	170
総計	530

※当初の計画では、トイレ使用数のマックスを約500名と見込んでいましたが、530名でもまだ余力があるのが解かり安心しました。

管理にあたり思うことは、予想以上に使用者が多いことです。それはとりもなおさず、宝満山の環境保全に繋がっているものだと思います。



※ 登山者への聞き取り調査

- 1.臭くないのがいい
- 2.洋式になったのがいい
- 3.トイレが綺麗
- 4.トイレ内が、もう少し明るいほうがいい
- 5.使用料は取らないのか
- 6.頂上にバイオトイレの案内板を設置されたのがいい

※ その他の状況

- 1.持ち帰り袋使用数(使用開始1ヶ月位は使用がなかった) 使用開始から132枚、使用して頂いている。
- 2.便槽内に生理用品 9枚 カップヌードルの残り汁、又は鍋物の残り汁等を便槽に投棄しているのを時々見かけた。
- 3.使用後の攪拌モーターの起動釦の押し忘れがある。最近はかなり改善されている。
- 4.女性用トイレの汚れは殆どない。男性用は遅に2~3回は汚れている。清掃が大変である。
- 5.女性小使用トイレの紙詰まりが多い。除去作業に困難を来たしている。洋式便座の影響と思われたので、12月19日に和式便器に変更した。変更後、紙詰まりは解消した。

※ バイオトイレのシステムの課題

- 1.電圧低下のアラーム機能と復帰機能のソフト変更
- 2.冬季低温時(3°C以下)のアラーム機能と復帰機能のソフト変更

【バイオトイレの管理者より】

バイオトイレの管理を始めて5ヶ月が過ぎました。一言で言えば、とにかく大変です。生半可なことでは、管理は出来ないということが解かりました。冬季の厳しい時期を凌げば明るい春が待っていることを信じて頑張って行く所存です。そして、バイオトイレの管理が、宝満山の自然環境を守る一助と成れば幸いなことだと思っています。

～運営委員会だより～

開催月日	議題	開催場所
7/12	設立総会の全体的総括	山の図書館
8/20	今後の活動を行っていく上での体制と任務分担	さざんぴあ博多
9/18	スケジュール調整・総会議事録の内容確認・10/19の県民清掃ハイクに共催・宝満山バイオトイレ稼動状況報告	さざんぴあ博多
10/16	清掃ハイクのコース確認・任務分担・総会時の懸案事項の検討・活動費支給規定検討	さざんぴあ博多
11/20	10/19 県民清掃ハイク報告・11/9 宝満山登山会報告	さざんぴあ博多
12/19	『山のトイレ協議会通信』第1号を1月中旬に発行決定 会紹介のチラシ作成（協賛企業に協力をお願いする） 4/5福智山山開きの前日、荒宿小屋で筑豊山の会との意見交換提案	さざんぴあ博多
1/15	「山のトイレ協議会通信」作業状況報告・福智山山開き時の意見交歓会参加要請	さざんぴあ博多

◎ お知らせ

- 3/29 宝満山周年祭
- 4/5 福智山山開き（餅つき、せんざい会もあります）
- 5/17 「ふるさとの山県民清掃ハイク」に共催・場所は宝満山
- 6/21 「山のトイレ、環境を考える福岡協議会」総会

協議会運営に協賛いただいた法人、個人の方々（順不同）

- | | |
|------------|------------------|
| 西日本鉄道(株) | (株)西鉄土木 |
| 西鉄エムテック(株) | 太宰府天満宮 |
| 竈門神社 | (有) 渕工業 |
| 大塚製薬(株) | 仲俣善雄（山のトイレを考える会） |

編集後記

設立総会から6ヶ月が過ぎ第1号発行が年を越えてしまい申し訳なく思っています。今期内に2号を発行する予定にしています。 事務局

山のトイレ協議会通信 第1号
発行日 2009年1月28日
山のトイレ、環境を考える福岡協議会
〒818-0115
太宰府市内山708番地
九州登山情報センター内
TEL 092(928)2729